

特別講義「地域活動に大切なことは？」を開催！

【令和7年11月12日】

令和7年11月12日(水)5・6限目、3年次「地域探究類型」と「ものづくり類型」の生徒14名を対象に、「地域活動に大切なことは？」をテーマとした特別講義を開催しました。講師には有限会社FRUSIC代表取締役の渡辺祥二氏をお招きし、地域資源である山羊を活用した環境保全活動を通じて、地域活動の意義や実践方法を学びました。当日は、本校弓道場、テニスコート場での山羊による除草作業の実演とふれあい体験を行った後、講義を実施。「地域活動に大切なことは？」という問いに対し、生徒から「継続すること」という答えが出され、渡辺



氏は継続には想いと資金の両方が必要であると説明。ボランティア的な考え方では持続できず、運転資金や改善のための投資資金を確保するために起業し、利益を投資するサイクルを構築する重要性を教えていただきました。就職希望者が半数以上を占める中、渡辺氏から「就職後に学びたいと思ったら

ら大学で学ぶこともできる」との助言もありました。今回の講義は、学校では学べない実践的な知識を得る貴重な機会となりました。受講した生徒たちが、卒業後の人生で苦労や挫折を乗り越えられる人間に成長することを願います。



【生徒の感想】「山羊に触れたり、草を与えたり初めての体験で楽しかった。」
「活動で生み出される収益に驚いた。」「ボランティアの考え方が変わった。」
「将来の地域貢献ではよく考えて行動したい。」